

職員アンケート集計結果

資料3

<職員アンケート調査の概要>

- ・実施内容 庁内、庁外の全職員を対象にした自由参加型によるアンケート調査で、電子申請による回答とアンケート用紙に記入による回答を選択してもらい実施した。
- ・職員数 1184人
- ・回収数 172件 (回収率14.5%)
- ・実施期間 平成26年9月17日～平成26年9月30日

問1 性別をお答えください。

性別	回答	%
1. 男	133	77.3
2. 女	39	22.7
	172	

問2 現在の年齢をお答えください。

年齢	回答	%
2. 20～29歳	26	15.1
3. 30～39歳	40	23.3
4. 40～49歳	47	27.3
5. 50～59歳	52	30.2
6. 60～69歳	7	4.1
	172	

問3 勤務場所はどこですか。

職業	回答	%
1. 庁内	141	82.0
2. 庁外	31	18.0
	172	

問4 どのような交通手段で通勤していますか。庁外の方は本庁に勤務する場合を考えて回答してください。

交通手段	回答	%
1. 徒歩	15	8.72
2. 自転車	54	31.4
3. バイク	12	7.0
4. 自家用車 (家族にらせてもらう場合も含む)	67	39.0
5. バス	1	0.6
7. 電車	23	13.4
	172	

問5 施設面、環境面でどのように感じますか。(〇はいくつでも)

施設、環境面	回答	順位
1. 古く、安全性等に不安	157	1
2. ロビー、待合スペース、廊下などが狭い	117	3
3. 庁舎が分散	124	2
4. 窓口が狭い	89	5
5. 相談スペースがなくコミュニケーションがとりづらい	64	11
6. ベビーカーや乳幼児と来る人が利用しにくい	79	9
7. 高齢者・障がい者にとって利用しにくい	92	4
8. 会議室が不足している	77	10
9. 収納や書庫が不足している	83	8
10. 駐車場・自転車置き場が足りない	89	5
11. 職員の憩える場所がない	85	7
その他	14	12

問6 市役所の位置についてどのように思われますか。(〇は1つ)

位置	回答	%
1. 現地	101	58.7
2. 移転	44	25.6
3. その他	26	15.1
無回答	1	0.6
	172	

問7 庁舎の建替えにあたって優先度の高いものは何ですか。(〇は4つ)

優先度の高いもの	回答	順位
1. 災害拠点	149	1
2. 低コスト	40	7
3. 環境に配慮	71	5
4. ユニバーサルデザイン	115	2
5. 窓口での手続きが楽	97	3
6. 職員へ気軽に相談できる	25	8
7. 十分な駐車場、駐輪場	75	4
8. 街のシンボル	61	6
9. 景観に配慮した庁舎	19	9
10. その他	6	10

問8 庁舎にあれば良いスペースはありますか。(〇はいくつでも)

あれば良いスペース	回答	順位
1. 市民が会議に利用できるスペース	34	4
2. ギャラリーやミニコンサート	38	3
3. 銀行や郵便局のATM	77	1
4. 休憩スペースや食堂	73	2
5. 特に必要ない	17	5
6. その他	15	6

<まとめ>

1. 施設、環境面において
上位3項目は市民アンケートの結果においても回答多数で3位以内に来ている項目である。
2. 市庁舎の位置に関して
現地(58.7%)が移転(25.6%)、その他(15.1%)を上回る結果となった。その他の意見として「仮庁舎での実務が十分に行えるか」との心配する回答が複数あった。
3. 建替えにあたり優先度の高いものに関して
「災害拠点」が市民アンケートとともに最重要事項となっている。ユニバーサルデザイン、窓口での手続きが楽にできるなども上位にきており利用者目線で庁舎を意識した結果となっている。
4. あれば良いスペース
市民アンケートとともに「銀行や郵便局のATM」が1位となり、次いで「休憩スペースや食堂」となり、福利厚生観点からも必要であるとの声がある。

Q5 施設面、環境面に関する その他自由記述

女性	3. 30～39歳	土地が低く、水害の心配がある。
男性	2. 20～29歳	雨が降ると庁舎に雨漏りしてきてしまう。
男性	5. 50～59歳	執務スペースが狭い。
男性	2. 20～29歳	雨天時の西庁舎等への移動が不便
男性	2. 20～29歳	もし食堂も改築するのであれば、その費用をメニューの値下げや、質の向上に使っていただきたい。
男性	5. 50～59歳	市民窓口が分散され不便、市民が憩える場所がない。
男性	3. 30～39歳	証明書発行窓口が混雑するときが多い。
男性	2. 20～29歳	全体的に暗い感じがする。
男性	5. 50～59歳	利用者や勤務している職員の安全配慮に欠けている。財産保全施策より命を守る施策が優先されるべきではないか。
男性	5. 50～59歳	狭い、ボックススペース的な場所が要と思う。
男性	5. 50～59歳	福利厚生観点からも対応できていない。
男性	3. 30～39歳	市民が憩える場所がない。
男性	5. 50～59歳	冷暖房設備や照明等執務環境が悪すぎる。

Q6 建設地に関する その他自由記述

男性	4. 40～49歳	津波・水害等、道路冠水等が考えられる。
男性	5. 50～59歳	現在の場所で建て替えが可能であれば良いが、仮庁舎の施設も必要になる。場所があるのか疑問である。
男性	4. 40～49歳	場所は委員会の指摘にもあるように、費用面を考えると難しいかもしれないが、現庁舎の運営をしながらとなり立地条件など制約が多いので結局中途半端な建替えになるのではないかが心配である。
女性	4. 40～49歳	現在の場所が良いと思うが、最寄駅が山陽電車の普通駅で歩いて少し離れていたり、JRからは遠い事、車で来庁する際も説明しづらい事が多い。
女性	4. 40～49歳	現実的には困難ですが、文化会館や保健センターなど市の主要な施設の傍にあると位置的にもわかりやすく、活気がでると思う。
男性	5. 50～59歳	同場所で建て替えるほうが良いと思うが、既存庁舎を壊して建て替え可能か、工事中は駐車場の確保等かなり困難が予想される。(今市市住跡を仮設のプレハブ庁舎や仮駐車場に使用など)
男性	4. 40～49歳	別の場所がどこかわかってこそ比較検討できるもので、「現在の場所or別の場所」の2択では良くなるか悪くなるか判断できないと思います。
男性	2. 20～29歳	現在地または高砂駅徒歩圏
男性	2. 20～29歳	場所は現在の位置又は代替の案が考えられるとは思いますが、少なくとも床下浸水や津波などに備えて
男性	3. 30～39歳	下水道・水道等、新本庁舎と同じ敷地内になくても良いものがある。
男性	4. 40～49歳	経済性・利便性を考慮し、選定願いたい。
男性	5. 50～59歳	BCPの拠点として最適地であるか検討してから判断すべきでは
男性	4. 40～49歳	総合運動公園サブグランドへ移転または高砂市民病院を縮小して本庁舎として利用。
男性	5. 50～59歳	費用面から考えれば現在の場所でのよいが、まちづくり全般も踏まえて考えるならどこかの施設と複合的にする方法もある。
女性	4. 40～49歳	現在の場所である必要性はないが、用地取得に時間がかかるのであれば
女性	3. 30～39歳	費用の安い方で良い。
女性	2. 20～29歳	地理的な安全性を十分に考慮し、少子高齢化時代に対応した場所となるよう検討する。
男性	3. 30～39歳	もう少し駅から近い場所の方が便利
男性	4. 40～49歳	市民病院を閉鎖し市役所本庁舎に改築する。上層階はテナントで貸し出せるよう整備する。
女性	4. 40～49歳	市内中心部での建て替え
男性	5. 50～59歳	利用者に利便性が上がるような施策を講じればどこでも良いと思う。
男性	5. 50～59歳	経費的なことを考えると現地立替になると思うが、建設期間中の業務執行をどのようにするのが課題となる。
男性	5. 50～59歳	今でよいと思うが、土地売却等で建てやすくなるなら移転も。
男性	4. 40～49歳	場所にこだわりはないが、折角建て替えるなら素晴らしいものを期待する。

Q7 建替えにあたって その他自由記述

男性	2. 20～29歳	未曾有の災害への対策や社会的弱者のための利便性を考慮した機能的で 合理的かつ経済的な庁舎を限られた予算内で建替え又は修繕補強で行っていただきたい。
男性	5. 50～59歳	交通の便が良い,市民も市民でない人も来庁しやすい場所での建設
男性	3. 30～39歳	建設費よりもランニングコストを徹底的に抑えた庁舎であること。(雨水利用太陽光利用等)
男性	3. 30～39歳	市役所に用が無くとも訪れる市民がいるような親しみやすい庁舎
男性	5. 50～59歳	職員が仕事のしやすい環境を整える。

Q8 あれば良い施設 その他自由記述		
男性	4. 40～49歳	明石市役所みたいな,コンビニ等の売店
男性	3. 30～39歳	ワンストップ窓口に対応できるスペース
男性	4. 40～49歳	博物館・文書館等の機能
男性	3. 30～39歳	掲示物をまとめたスペースを作ってほしい。(あちこちに啓発ポスターやイベントカレンダーが分散して貼られておりみっともない)
男性	2. 20～29歳	まず,最優先すべきことは耐震性の問題を抱えた本庁舎を予算内で補強または改築すべき。
男性	5. 50～59歳	現状に費用が大幅にかからない程度のもの,財源が期待できるもの
女性	2. 20～29歳	キッズスペース。
男性	5. 50～59歳	憩える場所、食事までは必要ではない。
男性	3. 30～39歳	市民が憩える場所

Q9 その他、庁舎の建て替えに関する自由記述

男性	3. 30～39歳	同規模の人口の市町村の庁舎を参考にしてはどうか。 (職員や市民に意見を聞くのはいいとは思いますが、好き勝手なことを言い收拾がつかなくなりそう)
男性	3. 30～39歳	市の規模に対し出先機関が多く総務が一元管理できにくい体制かと思います。人口が縮小する中で費用が少なく抑える方法(今の場所での建替)で計画してほしい。荒井ポンプ場があることからこの場からは離れられないと思います。また企業会計は別だとか言わず建物1つにほとんどの部局が入れる形を望みます。余った用地は売却し少しでも後世に負担をかけない形を取ってほしいです。
男性	3. 30～39歳	耐震診断がIS値0.3という結果は、来庁者や職員の生命を常に危険にさらしている状況であるだけでなく、地震による災害時に防災拠点となる機能をまったく有していないといえる。全市民の安全を守るため、他のどの事業よりも優先的に庁舎整備を進めていくべきと考える。
男性	5. 50～59歳	市のランドマークとなるものが良い。 高層化により、新幹線や高速道路から、よく見えるようにし、高砂市を象徴するデザインにして、ここが高砂市であるとアピールできれば良い。
男性	5. 50～59歳	特急が停車するバリアフリー駅がある荒井の新浜地区に建設すべき。 購入可能なスペースが存在し、駅直結官庁エリアとして、コミュニティバスのターミナルとして再開できる。その際には、現庁舎・荒井公民館の敷地は、宅地・マンション売却して建設資金に充当できる。 「現地での建替え」有りきで、考えるべきではない。
男性	4. 40～49歳	人口減少社会になった現在、将来を見越した庁舎機能を考慮する必要があると思います。既存施設を集約化し、複合施設としての利活用と、様々な課題を解決する有効な空間管理が理想的です。 一方で、現在の庁舎は、建築後60年近く経過しています。新庁舎も、50年の歳月に適合できる施設として、基本的な考え方が前提となります。人口は2/3近くに減少したとき、おそらく高砂市自体が存続していないことを前提に考えざるを得ません。 生き残るために何をすべきか、生き残るべきなのか、などを考えるうえで、「他山の石」のごとく安寧している現状では、何事に対しても取り組むべき基本姿勢にかけていると思います。 高砂市、としてのアイデンティティや誇りをどのようにもつべきか、そのような視点で、新庁舎に、特色ある機能と利便性・将来性を付加した基本的コンセプトの打ち出しを期待します。 繰り返しますが、高砂市の50年後のあるべき姿とは何か、そこまで考えておく必要があるのではないのでしょうか。
男性	2. 20～29歳	バリアフリー化や、廊下・窓口を広くし、市民にとっても職員にとっても窓口が使いやすい場所になってほしい。 食堂やロビーを広くするなどして、気軽に座れる休憩所を設け、市民が来庁しやすい市役所になってほしい。 災害時には、避難所として使用できるくらいの安全性・耐震性のある庁舎になってほしい。
男性	3. 30～39歳	高齢者や自動車を持っていない市民の方から、市役所に行くのが不便であるという意見をよくいただきます。コミュニティバスを利用するにしても往復を考えると利用できる便が非常に少ないように思います。財政上の問題もあると思いますが、利用する市民にとっては、鉄道駅周辺のような公共交通により容易にアクセスできる位置にあるべきだと思います。 また、今後の社会構造を考えると、ある程度の都市機能、行政サービスを集約し、コストの縮減を図るべきだと思いますので、庁舎の建て替えにあたっては、庁舎以外の施設の計画を含めて検討するべきだと思います。
男性	5. 50～59歳	市庁舎は、市民にとってシンボルであり、気軽に集える場、機能を有しているのがいいと思う。
男性	5. 50～59歳	市庁舎の位置については、現在の場所でもよいとした。 災害拠点としての機能を考慮するのであれば、移転新築がベストだと思うが、土地の取得費用やライフラインの整備費用を考えると、現在の場所でも仕方ないかなとの意見です。
男性	2. 20～29歳	明姫幹線より北(JR沿線)に新庁舎建設を求めます。(津波対策)
男性	4. 40～49歳	高価なもの、華美なものは要りません。明るく、職員が仕事がしやすい環境をいただけませんか？できれば、毎回「電力量が…」とアナウンスが入らない、低エネルギーで執務できる庁舎だと思いたい。障がいを持つ方が、雨にもぬれず移動できればもっと結構。災害の拠点といいたしましたが、できればいいけど、現在の場所では無理ですね？でも住所は荒井町千鳥1丁目1番1号がいいです。
女性	4. 40～49歳	地震や水害等に耐える安心・安全な建物であることは当然のこと、市民が利用しやすく、職員が無駄な労力(時間)を使わなくてもよい庁舎を目指してほしい。

Q9 その他、庁舎の建て替えに関する自由記述

男性	2. 20～29歳	市庁舎の整備にかかる費用はざっとどのぐらい見込んでいるのでしょうか？ まずある程度の予算を教えてくださいと、職員としても現実的かつ具体的な要望を出すことがむずかしいと考えています。
男性	5. 50～59歳	第一に高砂市といえばここを思い浮かべる市民のアイデンティティーとして、第二に市民の避難所機能も有する防災拠点として、第三に労働者としての職員が安心して気持ちよく業務に集中できる職場として早急に新たな庁舎を別の場所に建設すべきと考える。
男性	4. 40～49歳	近隣市とくらべて庁舎が大変古くきたない。安心して仕事のできる新庁舎建設をよろしく願っています。
女性	3. 30～39歳	他の市町役場へ行ったとき、高砂市役所があまりにも古くて、利便性も悪いことに驚き落胆します。 窓口も汚く(掃除をしても綺麗にならないくらい古びている)、雨漏りなどあり得ないことも日常茶飯事です。 市民の方が、利用しやすい施設であるとともに、職員が安心して働ける職場にしてほしいです。贅沢な装飾やデザインは求めません、危険を感じながら働くことがなければ十分です。
男性	4. 40～49歳	・コストとエコの観点から、冷房の使用を抑制し窓を開けることが効果的だが、蚊が侵入して執務に集中できないという弊害がある。網戸等があれば解消できると考える。 ・冬季の1階が土間で冷え込みが厳しく、暖房が欠かせない。断熱工法等の工夫や地熱等の利用で、冬季の電気代も抑制できるのではないかと。
男性	4. 40～49歳	まず、災害等の対策本部となるため、安全な施設であること。そして市民が利用しやすいわかりやすい構造であること。その上のシンボリックなデザインで、環境に配慮した建物であればいいと思う。
男性	5. 50～59歳	災害時の拠点としての機能の充実について、最近の異常気象による雨水等の対策及び津波対策も充分に考慮した計画をお願いします。
女性	4. 40～49歳	長年待ち望んできた新庁舎なので、長時間を過ごす職員にとって、働きやすい環境を強く望みます。
男性	4. 40～49歳	災害時の拠点として、また市役所で働いている職員、来庁されている方の安全を確保するために、早急に進めていただきたいと思えます。
女性	3. 30～39歳	まず、窓口業務が複数建物に分かれていることで市民だけではなく職員にも不便で、業務効率も悪いと、安全でゆとりのある建物を建ててほしい。なおかつ、レイアウトも市民目線はもちろんのこと、職員の目線でも考えてほしい。窓ひとつとっても現在の西庁舎のような実用性の悪い(開けられない、使いにくい等)ものはやめてほしい。
男性	6. 60歳以上	庁舎建て替えは絶対別敷地でやるべきである。現在敷地で建て替えようとするれば、全体完成までに約10年はかかるであろうし、その間職員はもちろん来庁市民にも多大な不便をかけるのは必然であり、ある程度の仮施設等も必要になってくる。真に将来の高砂市の顔としての新庁舎を造るなら、都市計画を念頭に置きアクセス道路・公共交通の利便性等を優先すべきで、たとえば、山陽高砂駅前(現高砂高校を南高校と合併移転させ、その跡地)とか、明姫幹線沿い(調整区域を解除)とか、さらにJR曾根駅を阿弥陀町南池の調整区域に移転し、その前に建設するとか思い切ってやるべきである。また、近年IT環境も目覚ましく普及しているため、いちいち来庁しなくても自宅に居ながら各種申請や、問い合わせが可能になってきたため建物自体も従来想定するような大規模なものは必要でなくなるかもしれない。とにかく、ともすれば現状を意識しがちであるが、将来の高砂市のことを考え計画すべきである。
女性	4. 40～49歳	現在の庁舎は窓口が分散し、福祉部門が西庁舎にあり渡り廊下等もないため、雨天時は傘をさしての移動や体の不自由な方にとっては非常に利用しにくい状況になっています。ぜひ、ワンストップサービスが実行されるような庁舎であってほしいと思えます。
女性	2. 20～29歳	他の公的な施設(公民館や文化会館、保健センターなど)と建物を統合することも視野に入れてはどうか。 人口が減少すると見込まれる将来に向け、どんな用途でも使えるフレキシブルな建物が求められると感じる。
男性	3. 30～39歳	とにかく執務スペースと耐震と1階へ総合窓口設置
男性	5. 50～59歳	できればJR沿いがいいと思います。宝殿は地価が高いので、宝殿と曾根駅間に建設し、JRとも協議の上新駅の建設し、真(新)の高砂市の玄関としてふさわしい庁舎にしてもらいたいです。

Q9 その他、庁舎の建て替えに関する自由記述

女性	2. 20～29歳	外国人も利用される場合があるので、案内板などには外国語表記があればスムーズに案内ができると思います。 また、一部だけでなくすべての案内板に表記があれば、さらに情報が得やすくなると思います。
男性	5. 50～59歳	他市では、学校施設の統廃合などで余った体育館などを利用して庁舎整備をした事例もあると聞く。なんでも建て替えではなく、既存インフラの有効活用(特に教育施設は耐震化が進んでいる)を進めるべきではないかとも思う。 何でも新設でインフラを増やす施策が正しいとは思えない。
男性	5. 50～59歳	現在も市庁舎には市民、職員の憩いの場として中庭があるが、市民の利用はほとんどない。もし市民憩いのスペースを計画するならば、利用する立場になって設計すべきと考える。
女性	3. 30～39歳	他市町に出張すると、いかに当市の庁舎が古く機能的でないかがよくわかる。 市民の方にあちこちまわってもらわなくてもよいよう、関連部署をコンパクトにまとめるか、少なくとも同じ庁舎に配置してほしい。 日々の業務、市民対応をする中でスペースが足りない感じることが多い。 現状のままでは業務改善にも限界があると思う。 職員がぶつかりながら仕事をするような庁舎はもうやめてほしい。
女性	5. 50～59歳	災害時の中枢となるべき施設なので、①海(津波被害)から離れた ②少しでも高い土地(浸水の少ない)、③周辺に倒壊の危険性が高い建物のない場所で ④広い道路に面するか又は近くでないで機能性が低いと思う。市庁舎は現在地以外での建て替えが必要だと思う。また、消防本部との連携がスムーズにできる場所であれば、機能性がさらにアップすると考える。
男性	3. 30～39歳	高砂市にふさわしい市民に開かれた庁舎になればと思います。